

2019年3月期第2四半期 決算説明会



写真：福井工場

2018年11月20日

デンヨー株式会社

I . 2019年3月期第2四半期決算の概要

取締役上席執行役員 管理部門長 兔 澤 俊 哉

II . 2019年3月期通期の見通し

代表取締役社長 白 鳥 昌 一

2019年3月期

第2四半期決算概要

2019年3月期第2四半期実績ハイライト（連結）

ポイント

連結売上高および利益とも、前年同期を上回る。

（単位：百万円）

	2018年3月期 第2四半期		2019年3月期 第2四半期		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
連結売上高	22,783	100%	25,258	100%	2,474	10.9%
営業利益	1,432	6.3%	1,435	5.7%	3	0.2%
経常利益	1,526	6.7%	1,657	6.6%	131	8.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	946	4.2%	1,107	4.4%	161	17.0%
設備投資	336		594		258	76.8%
減価償却費	588		558		△30	△5.1%
1株当り四半期純利益	44.56円		52.11円		7.6円	16.9%
R O E	3.6%	年換算	4.1%	年換算		
1株当り中間配当金	15.0円		20.0円			

製品別売上高の動向（連結）

概況

1. 発電機は 2,156百万円(12.3%)の増加。
2. 溶接機は 52百万円(2.2%)の増加。
3. コンプレッサは 75百万円(15.5%)の増加。

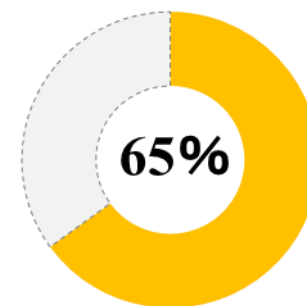
(単位:百万円)

		2018年3月期 第2四半期		2019年3月期 第2四半期		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
連結売上高		22,783	100%	25,258	100%	2,474	10.9%
製品別	発電機	17,505	76.8%	19,661	77.8%	2,156	12.3%
	溶接機	2,365	10.4%	2,417	9.6%	52	2.2%
	コンプレッサ	483	2.1%	558	2.2%	75	15.5%
	その他	2,429	10.7%	2,620	10.4%	191	7.9%

エンジン発電機（連結）

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
発電機	17,505 ^{百万円}	19,661 ^{百万円}	12.3%

- 国内は、主力のレンタル市場向けの出荷が増加。防災用発電機の出荷も堅調。
- 海外は、米国市場向けが好調。



可搬式エンジン発電機の国内シェア
※当社調べによる（5年平均）



可搬形発電機



防災用発電機

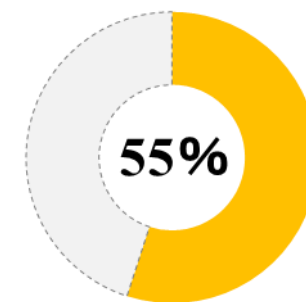
1kVAから1100kVA までのエンジン発電機を製造

- 可搬形発電機
建設現場、土木工事、災害復旧・復興などの動力源
- 非常用発電機（定置形）
防災設備やオフィスなどのバックアップ電源
- 電源車など

エンジン溶接機（連結）

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
溶 接 機	2,365 ^{百万円}	2,417 ^{百万円}	2.2%

- 国内向けは、小型溶接機が堅調。
- 海外向けは、米国および欧州向けが減少。



エンジン溶接機の国内シェア
※当社調べによる（5年平均）



エンジン溶接機

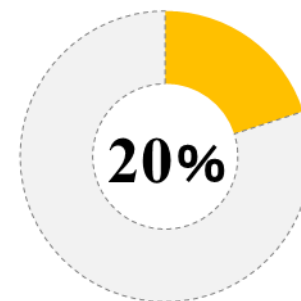
屋外作業の溶接機として当社が日本で初めて開発
軽量鉄骨溶接用の135Aから重量鉄骨溶接用の500Aエンジン溶接機、
およびTIG溶接機、CO2溶接機など

- ビルやマンション、橋梁などの鉄骨構造物の溶接
- 石油備蓄タンク、パイプラインなどの重要構造物の溶接

エンジンコンプレッサ（連結）

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
コンプレッサ	483 ^{百万円}	558 ^{百万円}	15.5%

- 国内及び海外ともに増加。



エンジンコンプレッサの国内シェア

※当社調べによる（5年平均）



エンジンコンプレッサ



モータコンプレッサ

吐出空気量1.7^{m³}/minから45.3^{m³}/minまで製造

- 道路工事のはつり作業、地盤改良工事
- 山岳道路の土砂崩れ防止のモルタル吹き付け工事
- スキー場の人工降雪機用など

その 他（連結）

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
その 他	2,429 ^{百万円}	2,620 ^{百万円}	7.9%

- 高所作業車、部品売上等が増加。

その他の売上

- 高所作業車
- 負荷試験装置
- 部品売上
- 中古機や仕入商品売上
- 修理売上など



高所作業車

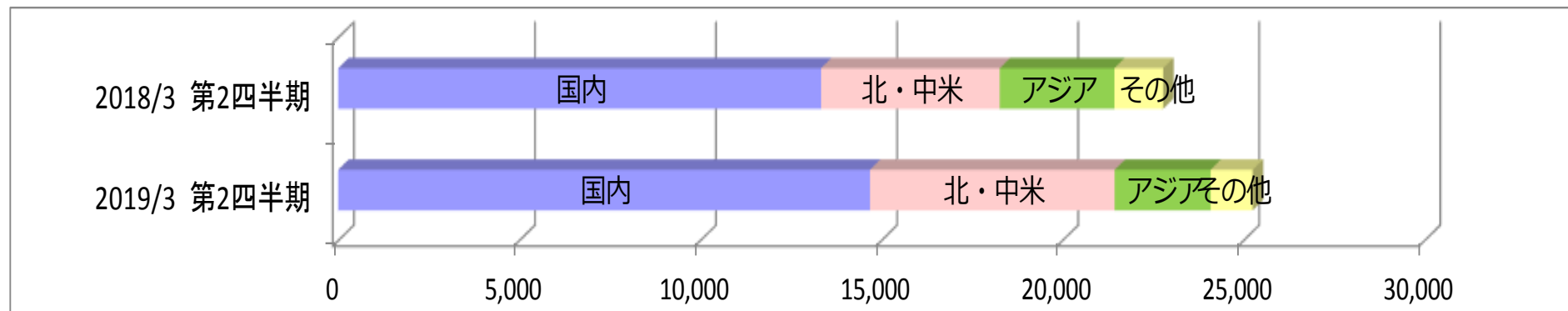


負荷試験装置

地域別売上高の動向（連結）

（単位：百万円）

		2018年3月期 第2四半期		2019年3月期 第2四半期		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
連結売上高		22,783	100%	25,258	100%	2,474	10.9%
国内売上高		13,337	58.5%	14,689	58.2%	1,352	10.1%
海外売上高		9,446	41.5%	10,569	41.8%	1,123	11.9%
地域別	北・中米	4,936	21.7%	6,758	26.8%	1,821	36.9%
	アジア	3,164	13.9%	2,649	10.5%	△514	△16.3%
	その他	1,345	5.9%	1,161	4.6%	△183	△13.7%



営業利益増減の要因分析

営業利益微増

売上が増加するも、売上総利益率の低下により、微増。

(単位:百万円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	前年同期比 増減
営業利益	1,432	1,435	3
営業利益率	6.3%	5.7%	△0.6ポイント

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	前年同期比 増減
売上総利益率	24.0%	22.8%	△1.2ポイント
売上高販管費比率	17.7%	17.1%	△0.6ポイント
売上高営業利益率	6.3%	5.7%	△0.6ポイント

- 売上総利益率は、原材料価格の上昇等により低下。
- 売上高販管費比率は、売上増による固定費率の低下による。

連結貸借対照表

概要

1. 流動資産 1,059百万円の増加は、主に現預金などの増加による。
2. 流動負債 742百万円の増加は、主に仕入債務などの増加による。

(単位:百万円)

	2018年3月期 期末	2019年3月期 第2四半期	前期末比 増減額
流動資産	※ 46,337	47,396	1,059
固定資産	※ 25,872	25,995	122
資産合計	※ 72,210	73,391	1,181
流動負債	12,319	13,062	742
固定負債	※ 3,757	3,939	181
負債合計	※ 16,077	17,001	924
純資産合計	56,132	56,390	257
負債純資産合計	※ 72,210	73,391	1,181

※当第1四半期より「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を適用しており、前連結会計年度についても遡及適用後の数値を記載しております。

連結キャッシュ・フローの推移

概要

1. 営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少などにより、3,346百万円。
2. 現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ3,301百万円増加。

(単位:百万円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,548	3,346
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△882	480
I + II フリー・キャッシュ・フロー	2,666	3,826
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△406	△376
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△92	△149
V 現金及び現金同等物の増減額	2,167	3,301
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	14,387	17,013

2019年3月期の見通し

2019年3月期予想～連結損益の見通し

ポイント

1. 売上高は、527億円を予想。
2. 為替レートは110円／ドルを想定。

(単位:百万円)

	2018年3月期		2019年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高	50,182	100%	52,700	100%	2,518	5.0%
営業利益	3,902	7.8%	4,600	8.7%	698	17.9%
経常利益	4,187	8.3%	4,900	9.3%	713	17.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,762	5.5%	3,200	6.1%	438	15.9%
設備投資	870		2,100		1,230	141.4%
減価償却費	1,198		1,300		102	8.5%
1株当り当期純利益	130.0円		150.6円		20.6円	
R O E	5.3%		5.8%			
1株当り配当金(円)	40.0円		40.0円			

製品別売上高の見通し（連結）

概況

1. 発電機は、2,097百万円(5.4%)の増加。
2. 溶接機は、31百万円(0.6%)の増加。
3. コンプレッサは、17百万円(1.6%)の増加。

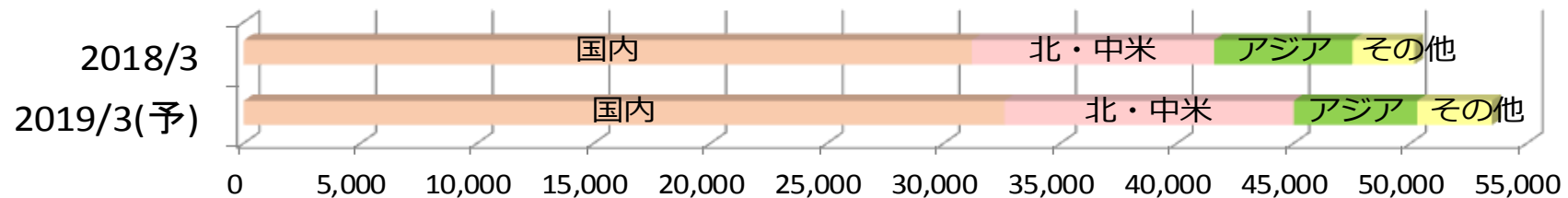
(単位:百万円)

		2018年3月期		2019年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		50,182	100%	52,700	100%	2,518	5.0%
製品別	発電機	38,653	77.0%	40,750	77.3%	2,097	5.4%
	溶接機	4,919	9.8%	4,950	9.4%	31	0.6%
	コンプレッサ	1,083	2.2%	1,100	2.1%	17	1.6%
	その他	5,525	11.0%	5,900	11.2%	375	6.8%

地域別売上高の見通し（連結）

（単位：百万円）

		2018年3月期		2019年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		50,182	100%	52,700	100%	2,518	5.0%
国内売上高		31,211	62.2%	32,600	61.9%	1,389	4.5%
海外売上高		18,970	37.8%	20,100	38.1%	1,130	6.0%
地域別	北・中米	10,382	20.7%	12,400	23.5%	2,018	19.4%
	アジア	5,938	11.8%	5,300	10.1%	△638	△10.7%
	その他	2,648	5.3%	2,400	4.5%	△248	△9.4%



営業利益予想の内容

営業利益増

中期経営計画の実行により、営業利益 698百万円増加を目指す。

(単位:百万円)

	2018年3月期	2019年3月期(予)	前期比
営業利益	3,902	4,600	698
営業利益率	7.8%	8.7%	0.9ポイント

	2018年3月期	2019年3月期(予)	前期比増減
売上総利益率	24.1%	24.5%	0.4ポイント
売上高販管費比率	16.3%	15.7%	△ 0.6ポイント
売上高営業利益率	7.8%	8.7%	0.9ポイント

- 売上総利益率は、高収益品の販売強化、原価低減活動による改善を目指す。
- 売上高販管費比率は、売上増による固定費率の低下を見込む。

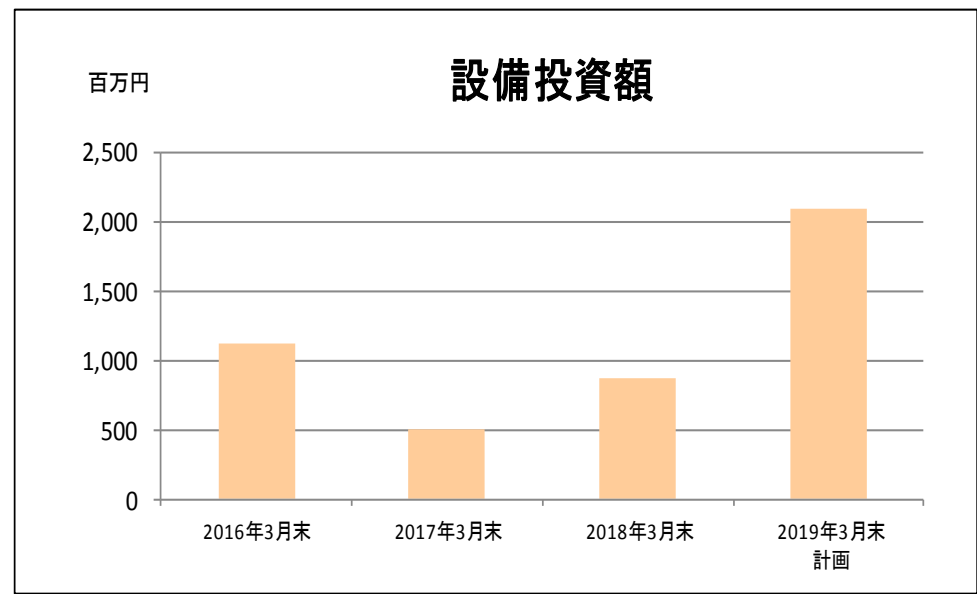
設備投資額の推移

(単位:百万円)

	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末 計画
設備費	1,125	511	870	2,100
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> ・福井機械等 430 ・ニシハツ 80 ・ベトナム工場 100 ・シンガポール 280 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井機械等 100 ・ニシハツ 50 ・アメリカ工場 250 ・ベトナム工場 20 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井機械等 310 ・ニシハツ 50 ・アメリカ工場 450 ・ベトナム工場 20 ・その他 40 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井機械等 830 ・ニシハツ 70 ・アメリカ工場 930 ・ベトナム工場 20 ・その他 250



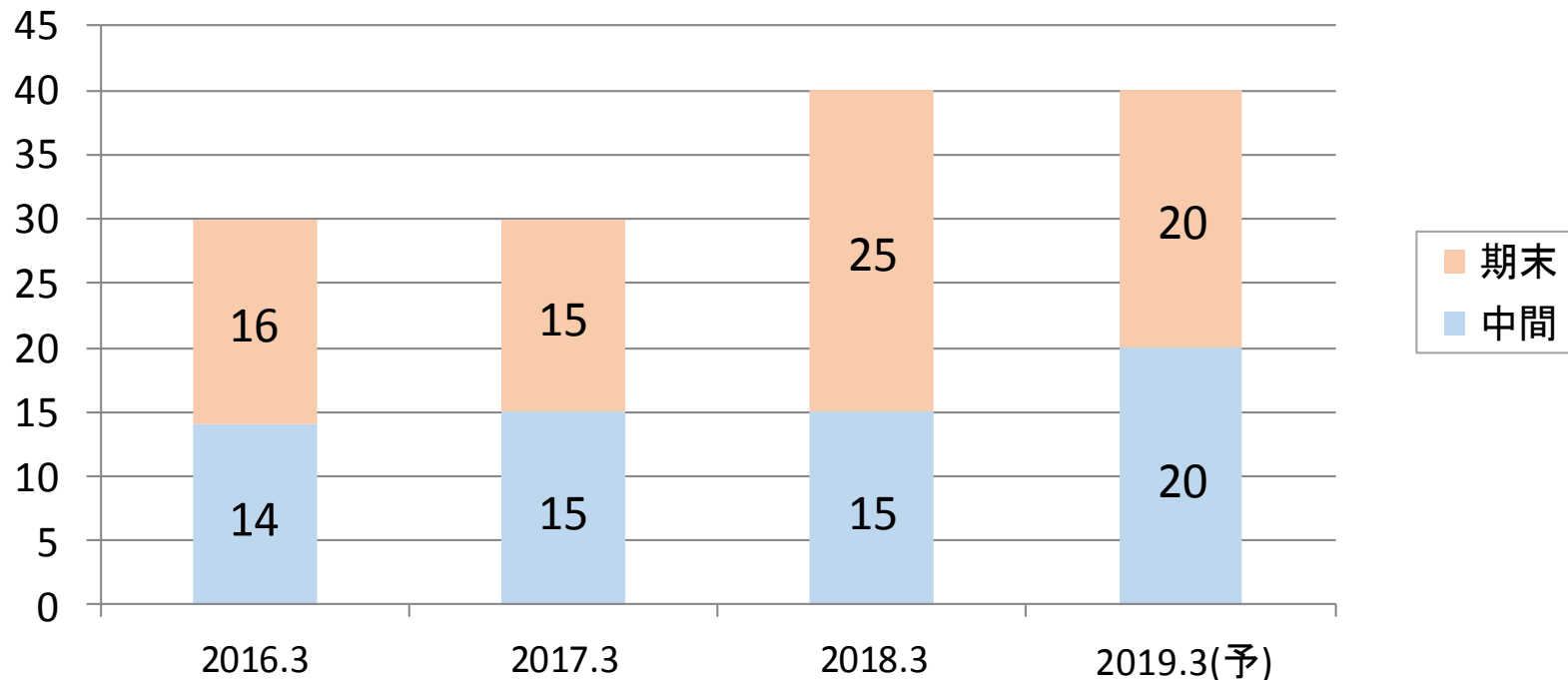
Denyo Manufacturing Corporation (U.S.A.)



利益配分の方針

利益配分: 収益力の向上と財務体質の強化に努めながら、株主の皆様に対する利益の還元をより充実していくことが重要と認識し、業績や配当性向などを総合的に勘案した成果配分を実施

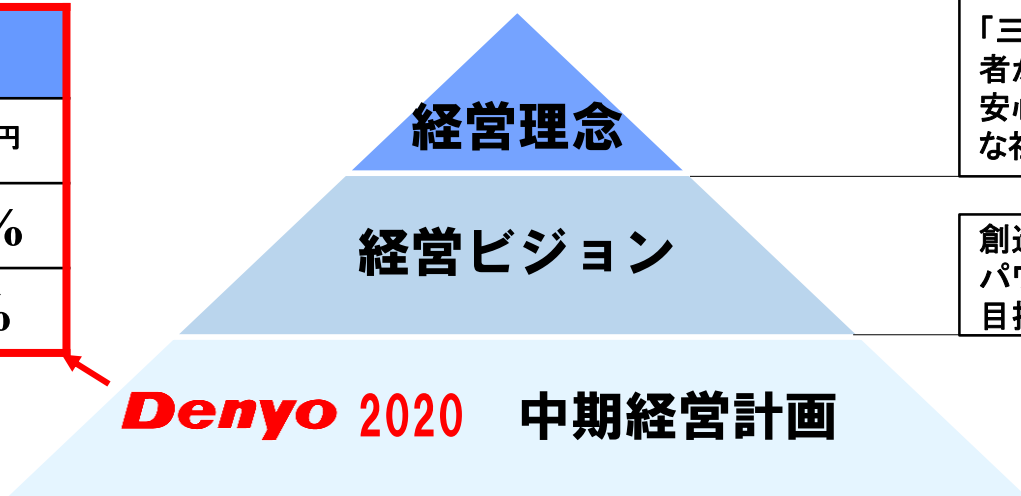
(配当金の推移 17年3月期 30円 ⇒ 18年3月期 40円 ⇒ 19年3月期 40円予想)



※2018年3月期期末配当金の内訳: 普通配当15円 創立70周年記念配当10円

中期経営計画の概要

2020年度・経営目標	
連結売上高	580億円
経常利益率	11.0%
ROE	7.0%



「三者の得」(使う人、売る人、造る人、三者がともに繁栄すること)を踏まえ、安全・安心なパワースーツの提供を通じて、豊かな社会造りに貢献する

創造力と不断の技術革新を通じて、高品質パワースーツのグローバルNo1ブランドを目指す

基本方針

建設関連分野における高品質パワースーツのトップランナーとしての地位を堅持しつつ、建設関連以外および海外向けの比率を高め、環境変化に強い収益構造を実現する

国内市場戦略

- 建設関連事業**
 - ◇ 営業体制の見直しや、顧客ニーズを踏まえた新製品開発を着実に推進しシェア確保を図る
- 建設関連以外の事業**
 - ◇ ニシハツ株式会社との連携強化を通じたグループ営業体制の見直しと、総合提案型営業強化によるシェア拡大を目指す

海外市場戦略

- 海外事業**
 - ◇ アジアは今後拡大が見込まれるレンタル市場を含め積極的に対応。アジア・その他地域(欧州、中近東等)を含め、販売力・サービス力強化を推進。米州は現地代理店との連携を強化
 - ◇ ターゲット市場が求める仕様の確認、アジア・中近東地域における定置形発電機の生産販売体制の確立を図る
 - ◇ 溶接機については、ターゲット市場が求める製品ラインアップ充実、メンテナンス性の高い製品の開発に注力する

経営基盤の強化

- 開発**
 - ◇ 市場ニーズを的確に捉え、競争力のある製品開発を迅速に行う。国内外定置形発電機への対応強化
- 生産**
 - ◇ 最適地生産を一層推進し、高品質の製品供給・原価低減・納期短縮を図る
- 人材育成**
 - ◇ 教育体制の一層の拡充、特にグローバル人材の育成に注力する

見通しに関する注意事項

この資料には、2018年11月8日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予想が含まれています。
今後の経済変動、競合状況などにより、実際の業績が予測と大幅に異なる可能性があります。

あくまでも、情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。
投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。

当社のIRに関するお問い合わせ先

経営企画部 田辺・後藤
電話：03-6861-1178
FAX：03-6861-1185

參考資料

エンジン発電機、エンジン溶接機など野外パワースーツのトップメーカー

沿革：	1948年7月2日	「日本電機溶接機材株式会社」として設立
	1959年	我が国初の高速エンジン溶接機を開発、発売
	1961年	エンジン発電機の生産、販売開始
	1966年	防音型開発 デンヨー株式会社に社名変更
	1983年	東証二部上場
	2000年	東証一部上場

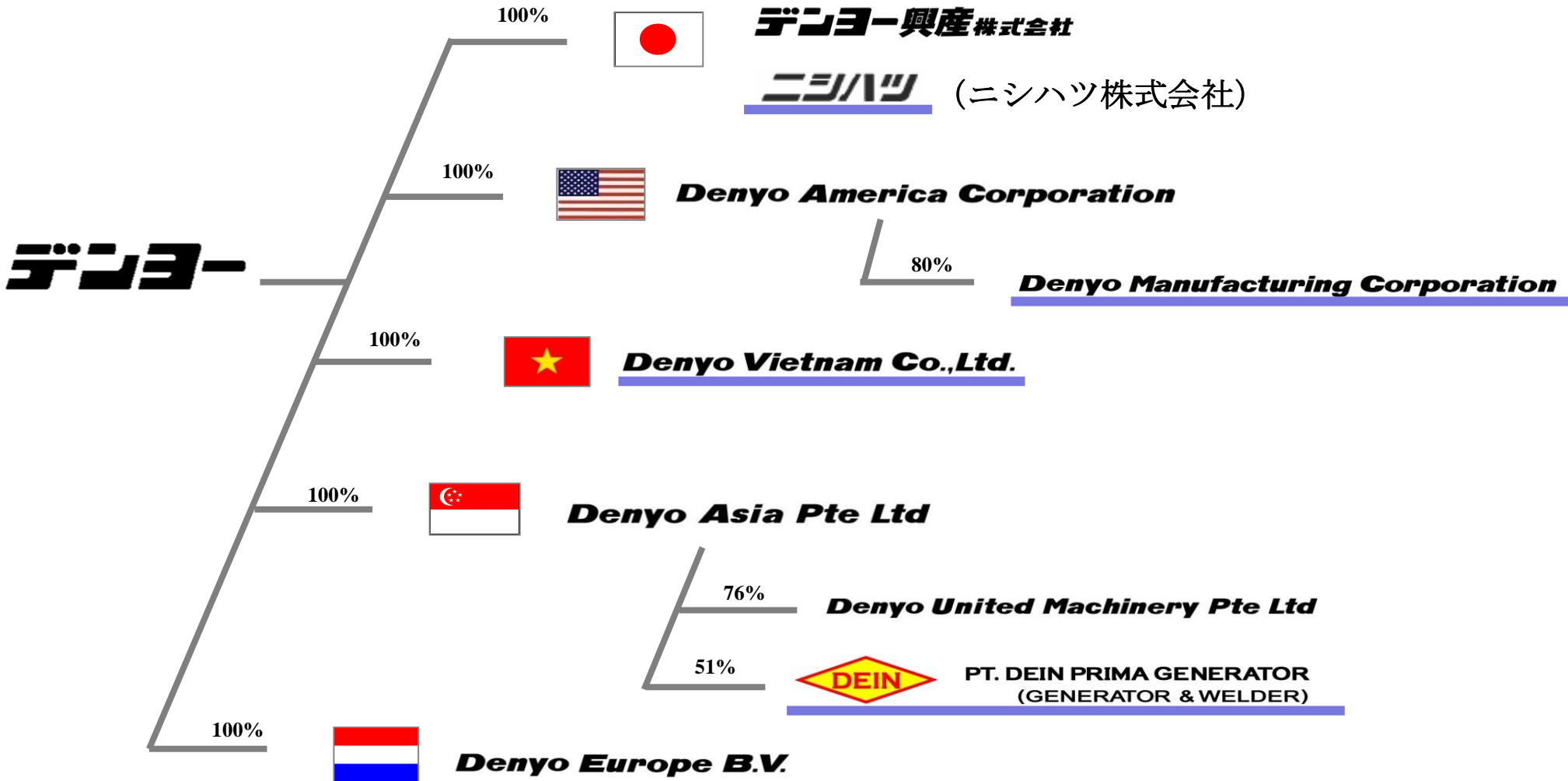
会社規模など（2018/3期・連結ベース）

（単位：百万円）

売上高	50,182
うち海外売上高	18,970
経常利益	4,187
親会社株主に帰属する当期純利益	2,762
総資産	72,588
純資産	56,132
時価総額（3/31時点）	43,456
従業員数	1,277人

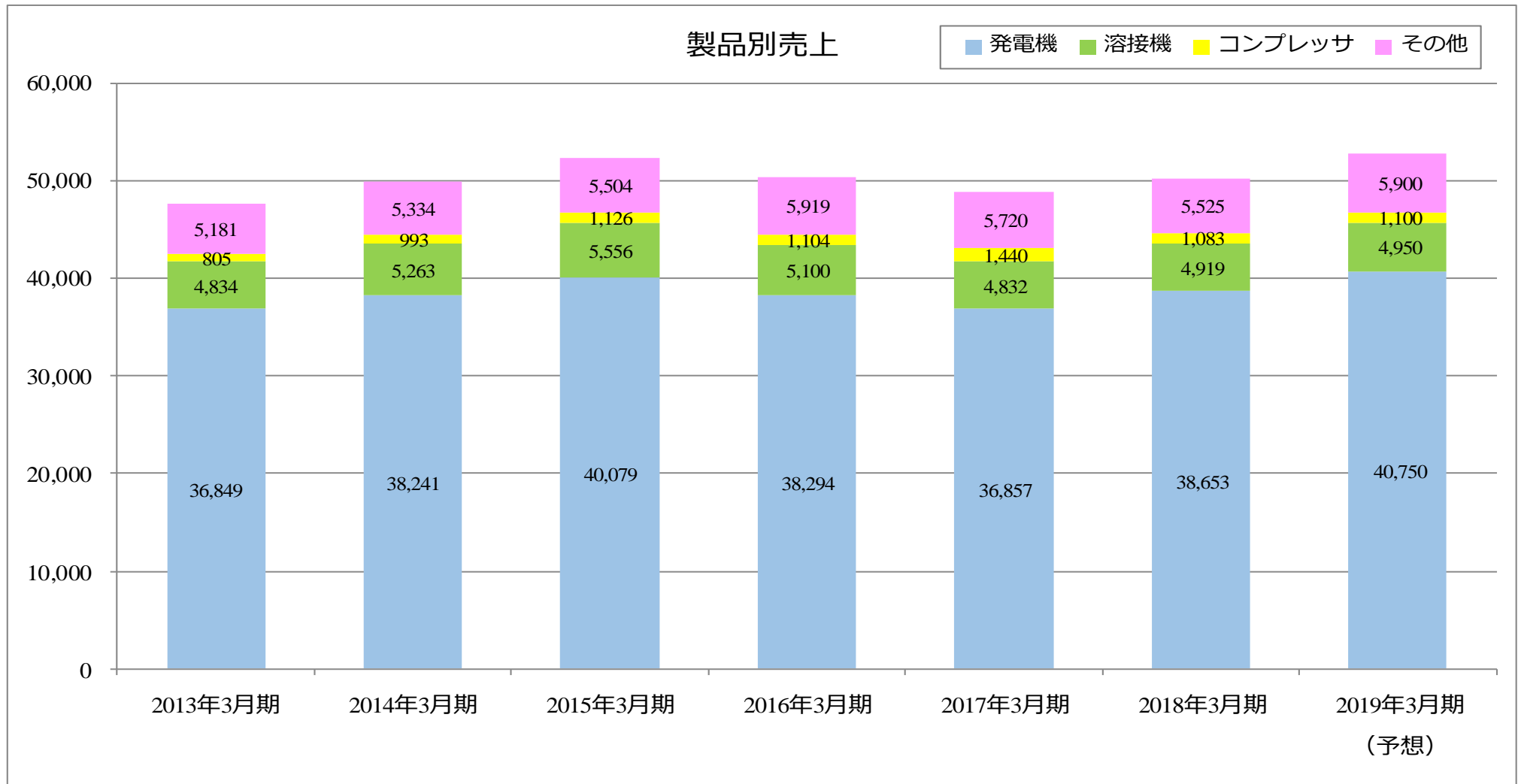


本社（日本橋堀留町）

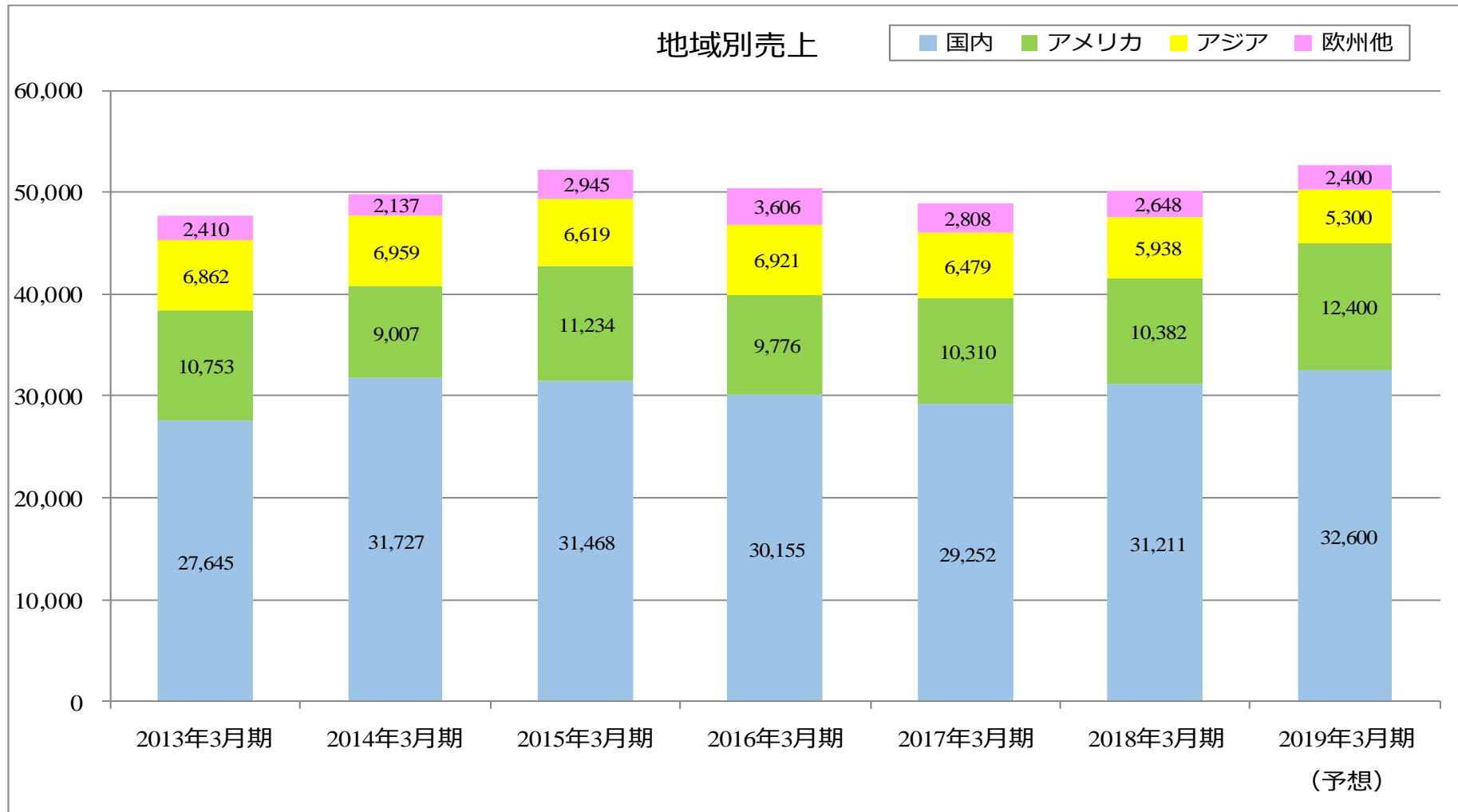


※1.この他に持分法適用の関連会社「新日本建販(株)」(出資比率15.7%)があります。
2.下線の引いてある会社は製造会社となります。

製品別推移と予想



地域別推移と予想



過去30年間の業績の推移

